

## 令和6年度 第3回 昭島市社会教育委員会議・要点録

開催日時／会 場 令和6年6月27日（木）午後7時00分～8時51分 庁議室+Web会議  
出席者 谷部議長、松本副議長、小原委員、前川委員、指田委員、小池委員、齋藤委員、二ノ宮リム委員、信國委員、石川委員  
事務局 塩野社会教育係長、久保社会教育主事

### 1 開 会

＜配付資料＞

資料1 令和6年度社会教育関係団体登録数について

資料2 第32期活動記録について

- ・昭島市月間行事予定表7月
- ・広報とうきょう 6月号
- ・令和6年度青少年健全育成方針（冊子）の配布について
- ・地域の活性化を目指す社会教育（提言）東大和市社会教育委員会議（回覧）
- ・令和6年度第66回全国社会教育研究大会茨城大会に係る第一次案について（回覧）

### 2 報 告

#### （1） 令和6年度社会教育関係団体登録数について（資料1）

※事務局より資料の説明

委 員 スポーツ協会のほか球技や体操などがあるがスポーツ協会に入っていない団体ということか。

事務局 そのとおりである。

#### （2） 昭島市健康づくり推進協議会について

※委員より報告

### 3 協 議

#### （1） 第32期活動記録について（資料2）

※前回会議にて挙がった修正事項を確認

議 長 P6 第3章 3 タイトルの西暦標記についてはペンドィング。P6 1 第1回理事会の日程を7月9日に訂正してもらいたい。

事務局 承知した。都立大学のゼミを掲載することについては、先方に確認済である。第5章 タイトルを「社会教育委員視察研修（自主研修）」に変更したいがいかがか。

議 長 こちらの方がよい。

今回は P12 第5章 関係委員会報告等について各委員に書いてもらったものを確認したい。（1）小学生国内交流事業運営委員会の日程、内容を読み上げ。先日行った会議、7月、8月分についても追加してもらいたい。

- 委 員 令和6年度の事業分を報告する。
- 議 長 (2) 青少年問題協議会について。
- 委 員 ここには1つずつしか入っていないが、青少年健全育成活動基本方針検討委員会については4回開催されている等抜けているものがあるので、後ほど送付する。
- 議 長 関係委員会の活動報告について(1)(2)(3)の令和6年9月までに実際に活動があつたらここに載せてもらいたい。
- 議 長 P13 第6章 今後の課題とまとめについて。前回会議での内容を受けて1 今後の課題(1)(2)の下線部を追加した。2 まとめを修正した。文章的にはいかがか。特になければ先に進みたい。何かあれば事務局へ。
- 事務局 P5 第3章 1の表について。「日時」と記載があるが、時間の記載はないので変更したい。P6 第3章 2のタイトル(下線部は第31期)は1の表同様に削除し、表の下線部の削除。P9 第4章 4(口)「全大会」ではなく「全体会」。P10 のURLは正しいURLに修正する。QRコードも入れる。第5章 2 関係委員会の活動報告についての表の上に日時等を入れる。令和5年6月8日第1回小学生国内交流事業運営委員会→運営委員会へ修正。(2)令和4年7月28日は31期になるので削除。内容については、会議名ではなくレジメ等で確認し議題等を入れる。(3)令和4年6月1日は31期になるので削除。以上について修正させていただきたい。
- 議 長 3 社会教育関係委員会については前回確認しているので済。次に、各委員メッセージの後に「おわりに」となっているが、目次では今後のまとめについての後が「おわりに」、その後に名簿、各委員からの一言メッセージとなっている。前回提出時には目次の通りであったが変わっている。
- 事務局 目次の通りの方がよいのであれば変更するが。
- 議 長 目次通りでよい。
- 事務局 変更する。
- 議 長 各委員の一言メッセージについて現在5名提出している。まだの方は強制ではないが、よければ提出してもらえば。自分が参加したことが後に残るので。
- ※各委員からのメッセージの紹介  
文字の書体を統一してもらいたい。
- 事務局 修正する。
- 議 長 ※続いて、「おわりに」の文章を紹介
- 事務局 新らたな→新たな
- 議 長 特に何かなければこのまま進めたいがいかがか。
- 委 員 目次の通りだと、委員名簿の後に各委員からの一言メッセージを入れるということか。
- 議 長 前回からこの順番であった。名簿の後に一言メッセージというのもどうかとは思うが。「おわりに」の後に一言メッセージ、最後に委員名簿とした方がよいのでは。
- 事務局 修正する。
- 事務局 体裁はこちらで整える。
- 議 長 以上ですべて出そろったところである。
- 事務局 P9 第4章 4(イ)発表者「内田」とあるが、内田さんは本市の方ではないので呼

び捨てでない形で。どこの方かわかる形としたい。

議長 宮崎県社会教育委員である。

委員 東京都立大学のゼミの記載の仕方についてお伝えすることになっていたので、この場で確認したい。

議長 P11 タイトルでは「東京都立大学法学部教授大杉ゼミ」とした。昨年度八王子市で発表の事例があった内容をホームページで確認した際この標記になっていたのでこのようとした。

委員 教員の名前でゼミというのは一般的に使うが、先生が連絡してきた訳ではないし先生がこの報告書に名前を載せることを確認した訳ではないので…

議長 事務局の方からこの活動記録に載せていいかということを都立大学に許可を取ったそうだ。

委員 先生に確認したのか。

事務局 先生ではなく、連絡をしてきた学生本人に確認した。

委員 個人名を勝手に載せるよりは「東京都立大学法学部地域づくりと地方自治ゼミ」でよい気がする。教員+ゼミというのは正式名称ということではないので。目次についても「東京都立大学法学部地域づくりと地方自治ゼミ」でよいかと思う。

議長 八王子は大杉先生が実際に参加しているのでそのような標記としたのかかもしれない。ゼミ生に確認したら個人的によいと言われたということか。

事務局 そうである。

委員 あくまで学生なので、確認するなら教員に直接の方がよいが、教員が依頼してきたものではないのでそこまでするほどのことではないように感じる。特に載せたいという強い意図があるのか。

議長 この標記について最初はなかったが、前回の話し合いで浮上したものである。

委員 ゼミ生という呼び方が一般的ではないので、「都立大学法学部学生」か「都立大学法学部地域づくりと地方自治ゼミの学生」がよいと思う。

議長 2案あるが、どちらがよいか。

委員 入れられるなら「都立大学法学部地域づくりと地方自治ゼミの学生」がよいと思う。

議長 具体的なゼミ名を入れたほうがわかりやすい。「都立大学法学部地域づくりと地方自治ゼミの学生」としていく。他になれば、本日の修正事項は次回までに事務局に修正をお願いしたい。

※本日の修正点の確認

## (2) 令和6年度関係委員研修について

議長 前回、委員にいくつか案を考えてもらいたいと依頼したがその後どうか。

委員 「メディアリテラシー」の案としては、①実際の事例を元にしたデマに関する SNS 投稿を受けた際にどういう行動をするかを話し合う。②報道で使用された写真のみを出してその写真が何を意味しているのかをみんなで話し合う。

そのほかにメディアリテラシーに繋がるアイスブレイクで「人間コピー」というアクティビティがある。グループのメンバーの中でチームを作って、グループで活動する

ことはどういうことなのかなど、それぞれの役割を認識したりするもの。仲良くなるということを目的としたものとしては、アイスブレイクがいろいろある。新聞紙ができるだけ高いタワーを作る。人間知恵の輪。短いアイスブレイクのアクティビティをいくつかみんなで体験するということもできるのでは。

- 議長 他に何かあるか。実際に1時間程度なのであまり複雑でない方がよいかもしない。
- 委員 「メディアリテラシー」は興味深い。写真を撮った人が伝えたいことと見た人の受け取りの違い等他の関係団体の方が興味あるかはわからないが面白そう。
- 議長 昨今SNSを発端としたデマが多く出ているので個人的には面白そう。「メディアリテラシー」について行った場合、準備品等多く必要となるか。
- 委員 SNSのデマについては手元に教材があるのでそれを使用できそう。各グループでどんな話があったか共有することが必要なので模造紙とペンはあればなおよい。1時間ということであれば、簡単なアイスブレイクを行った後にこれを行うとちょうどよいかも。
- 議長 報道写真の方だと写真を何枚か用意しないといけないのか。
- 委員 写真は教材の中にサンプルがないので、何を使用するかを自分たちで考えなければならない。
- 議長 「人間コピー」についてもう一度説明を。
- 委員 例えば4人グループのうち1人だけ絵を見ない人を決める。他の3人のみが絵を見てそれを見ていない1人に説明する。説明を受けた人ができるだけ近い絵を描くというも。全グループで同じ絵を見るのでそれぞれのグループでの違いが出てくる。
- 議長 研修の内容についてデマのSNS、報道写真、人間コピーの3つの候補に絞らせていただき、次回皆さんの意見を伺いたい。

#### 4 その他

##### ・第33期社会教育委員一般公募について

- ※事務局より資料の説明
- 委員 公募市民枠の委員は提出しなければ9月で終了ということか。
- 事務局 そうである。
- 委員 委員の変わり目ではあるが、社会教育主事も来られたので次回の「あきしま会議」の計画を立ててはどうか。前回、プロジェクトを立ち上げる話にはなったが、その後のフォローアップがうまくいかなかった。初心に帰って当初の「あきしま会議」をもう一度やってみるのはどうか。講師の謝金を取っているということであれば講師の都合も踏まえ日程調整を始めてはどうか。
- 議長 時期的にはいつにするかの案があるか。
- 委員 事務局の都合と委員の皆さんの都合で決めるのがよいかと。もしよければ議長と事務局で調整し、次回の会議で出してもらえば。
- 事務局 近藤先生に講師をお願いするのは確定ということでよいか。
- 委員 皆さんの希望があったと思うが。
- 事務局 謝金は予算取りしているので、こちらで何月頃というのが決まったら近藤先生の予定の確認は委員の方で行ってもらえるのか。

委 員 承知した。

議 長 活動記録と各委員のメッセージを提出していない方は提出を。

本日はこれにて閉会とする。

次回

7月 25日 (木) 午後 7時より 204 会議室+Web 会議 (教育実習生 1名参加予定)

8月 22日 (木) 午後 7時より 603 会議室+Web 会議

9月 26日 (木) 午後 7時より 301 会議室+Web 会議